

## ごあいさつ

本市では、令和5年3月に策定した「本庄市総合振興計画後期基本計画」の教育文化分野で、「未来を拓く人を育み、歴史と文化の薫るまち」を掲げ、本市が受け継ぐ長い歴史と多様な伝統文化を生かしながら、学びを通して人を育み、未来へ発展していく地域を目標としております。

誰もが生涯にわたり、学びたい時に自由に学ぶことで人格を磨き、人と人々が学び合い、支え合いながら共生する生涯学習社会の姿は、本市の目指すべきところ です。

また転換期を迎えた時代において、生涯学習には、地域住民同士のつながりを形成し、地域社会の発展や課題解決に寄与する大きな役割が求められております。

平成31年度策定の「本庄市生涯学習推進指針」は、生涯学習を推進する主役の市民の皆様を、行政が支援する基本的な方針として定め、現在まで様々な課題に取り組んでまいりました。「第2次本庄市生涯学習推進指針」では、その基本理念を継承しながらも、社会情勢や市民ニーズに沿うことができるよう見直し、今後5年間に積極的かつ重点的に取り組むべきことを定めております。質の高い学習環境や文化芸術活動に触れる機会を、誰もが望む時に得られるよう、地域の学習活動へ体系的かつ計画的に支援してまいりたいと考えております。

本指針が、市民の皆様地域の学びの支えとなり、生涯学習社会の更なる発展につながることを、大いに期待しております。

結びに、本指針の策定にあたって、貴重なご意見やご提言をいただきました皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月



本庄市長 **吉田信解**

## ごあいさつ

本市では、平成31年3月に策定した「本庄市生涯学習推進指針」の期間満了に伴い、今後も市民の皆様の学習活動を支援し、誰もが学びを通して豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指すための、「第2次本庄市生涯学習推進指針」を策定しました。

「本庄市生涯学習推進指針」策定後の5年間は、新型コロナウイルス感染症の発生や国際情勢等により、社会は大きく転変しました。そのような状況で生涯学習の機会、特に感染症拡大の影響を受け、社会全体で教育の機会が減少する事態となり、本市においても事業の中止や縮小を余儀なくされました。

変化の最中にある社会において、持続可能な生涯学習社会を実現するためには、性別・国籍・年齢・障害の有無等にかかわらず、誰もが生涯にわたって、あらゆる機会や場所で学習し続けることができるように、継続的かつ多角的な支援を実施する必要があります。

本指針は、「学びの環境（人）づくり」、「学びのつながりづくり」、「学びの成果を生かす地域づくり」、「次世代育成の支援」、「文化芸術活動の支援」の5つを柱として掲げています。本市は、この5つの指針の柱に基づき、より多くの市民の皆様が、自主的・自発的に、学習活動に参加され、学びの成果が生かされ評価されるように、充実した学習環境の構築、学習機会の創出に取り組んでまいります。また、社会を担う次世代の育成や、質の高い文化芸術活動を支援することで、成熟した生涯学習社会の実現を目指してまいります。

結びに、本指針の策定に尽力されました本庄市社会教育委員及び本庄市生涯学習推進会議の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました関係各位に、心からお礼申し上げます。

令和6年3月

本庄市教育委員会教育長 下野戸 陽子

